

モンテッソーリ教育

その2

「子どもは自ら育つ力をもっている」という「力」とは、

子どもが「やってみたい」と思う気持ちから始まります。

例えば…子どもが「面白そう!」「試してみたい!」と思うことがあっても、やることができない状況が続くと、子どもの中に生まれた気持ちは消えてしまいますよね。

「やってみたい」と思ったその時に、それができる時間・モノ、それに必要な援助をしてくれる人がいることで子どもの成長の可能性がドンドン広がっていきます。



春日幼稚園では日常の生活の中で「自分でやりたいことを選んでやる」子どもの姿が多くみられます。以上児クラスでは年齢別の活動もありますが、子どもがその日一日の中で「これをしよう!」と活動を決めることができるチャンスがたくさんあります。



選ぶ活動や時期は子ども一人ひとり違いますが、自分でやりたいと決めることは「意思の力」が育つことです。最初は上手くいかないことでも繰り返しやることで体の使い方や、モノの使い方、モノの性質を自然と身につけていきます。

人から決められたのではなく、自分がやりたいことを、満足できるまでやることができる時間が保証された園での生活は、子どもたちの「やりたい」気持ちを次々と起こさせ、自分を成長させていくのだと思います。

参考文献『モンテッソーリ教育』友好学園「深草子どもの家」後援会編